



令和4年  
11月号

# 学校だより

小野市立中番小学校  
校長 田中 康 善

## 修学旅行。深まりゆく秋。

### 新たな発見！新たな一歩！

★禅の心、「そういうものだ。」どんなことも受け入れる逞しさと強さ、生きることは奇跡の連続！

10月、大きな教育活動である6年生の修学旅行（11日・12日）を無事に終えることができました。多くの方にとり小学校の修学旅行の思い出は、今も色鮮やかに、大切な思い出として心に残っているのではないのでしょうか。

今回の修学旅行では、6年生の子供達に目標3つを示しました。それは、①学ぶべきことは学ぶ②自分の行動に責任を持つ③友達との関係をしっかりと築き上げる、この3つです。①は、日本が世界に誇る価値ある文化遺産に直に触れること②は、自分の役割・仕事について、その使命・責任を果たす為に、自分が全力を尽くすこと③は、本校は、学年一クラス、クラス替えは無し。ある意味仲間のことをよく理解し合っているとも考えられます。ただ、見方を変えると固定化される面もあります。しかし、寝食を共にし、一緒に活動することで、友達の新たな面に気づくことができると思います。この3つの目標に向かい、子供達は頑張り、見事、目標を達成してくれました。また、あの一休禅師が修行された霊源寺で座禅体験をしました。静寂の中、警策（きょうさく）の音が響きました。座禅体験の後、お話を聞きました。人はちっぽけな存在、どんなことも諦めるのでなく「そういうものだ」と全てを受け入れる強さをもつこと。そして、「生きることは、正に奇跡の連続！」と学びました。また、この修学旅行では、添乗員さん、運転士さん、ガイドさん、救急員さんには、本当によくしていただきました。どの方も誠心誠

## 断崖絶壁！挑戦、その先へ。

★自らの未来の為に、人生の主人公となる為に…。

意、この修学旅行が子供達にとつて最高のものとなるように願い、心を砕いてくださいました。本当にありがたかったです。そして、何より、子供達がその思いに素直に、誠実に、応えてくれたこと、大変嬉しく思います。6年生の心に、色褪せることのない修学旅行の思い出が刻まれたことでしょう。

2学期は活動の季節、「実りの秋」です。多くの教育活動は、ある意味、子供達にとつて断崖絶壁。人は、困難に直面した時、その真価を問われます。難しい問題に出会うと何もできず、立ち止まってしまふ、そんな子供達がいます。その背景には、不安や心配、失敗を恐れる気持ちや先行してしまふのかもしれない。しかし、手をこまねいていても現状は変わりません。まず、一步を踏み出す勇氣を持ちたいものです。今、子供達の前には「予測不可能な未来」が広がっています。その未来を生きるには、誰か。そして、その未来を創るのは誰か。"no rain, no rainbow" という言葉があります。雨がなければ虹を見ることはできないという意味です。目の前の試練や苦しさに対して、心配や不安、不平や不満を口にするだけでは、その解決には繋がっていきません。その課題に、自ら、勇敢に、果敢に、挑戦し続け、見据えたその方向に、その先に、輝く「虹」見つけたいと考えます。未来は、只、じっと待つものではなく、自分事として捉え、自らがその未来を創っていく。誰もが、一人一人が、人生の主人公となる為に…。そんな姿を子供達には強く求めたいと考えています。どんなに厳しく苦しい状況にあっても、

## ★重要なお知らせ●平成14年度卒業制作「トーテムポール」について★

地域の皆さんは、運動場芝生広場の北、フェンス沿いの「トーテムポール」をご存じでしょうか。動物や人の顔などが彫刻された芸術的なインパクトのある柱です。これは、平成14年度卒業生の皆さんが卒業記念制作として作られたものです。そのトーテムポールの劣化が著しく、地面近くの根本のところがかかり剥がれ、細くなってしまうております。倒れる等、もしものことがあつてはいけません。現在、ロープで囲み、子供達が立ち入らないようにしてあります。ただ、とても大切な卒業記念制作です。卒業生の皆様、お一人お一人の思いもあるかと思っております。簡単に処理するということはできないと考えております。しかし、児童の安全を考えると、このままという訳にもいかないのが現状です。そこで、このことを広く校区の皆様にお知らせした上で、来年1月を目途に処理の方向で考えております。しかし、校区におられない卒業生の皆様には、このことをお知らせすることが難しい面もございますので、平成14年度卒業生の保護者の皆様、お知り合いの方々、ご友人の方々を通して、広く皆様にお知らせいただければ大変嬉しく思います。また、このことについて何かございましたら、中番小学校まで遠慮なくご連絡ください。よろしくお願いいたします。

どんな時でもあたたかく見守り、ご理解をいただいている保護者の皆様、地域の皆様の惜しみないご支援とご協力に感謝申し上げます。「今日も学びたい、明日も行きたい。」そう思える中番小学校の実現に向け、今後もしっかり取り組んでいきたいと思っております。中番小学校は、この地域とともに在り、地域の皆様と一緒に歩んでいきたいと願っています。